事務局ニュース09-NO.1　2009. 6. 26　埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

「大規模の分割」「指定管理者制度」「指導員の仕事の確立と処遇改善」等　県連協2009年度がスタートしました

埼玉県学童保育連絡協議会総会、研究集会が無事、盛況のうちに終わりました。総会には、上田知事（代理）、県議会議員、関係諸団体の方々が出席し、多くの市町村の首長から祝電・メッセージが届きました（※詳しい内容は後日、全世帯配布のニュースにてお知らせします）。

２010年度にお尻が決められた大規模解消問題、指定管理者制度への対応、指導員の仕事の確立と処遇改善、障害児学童保育制度の国での制度化等、課題はたくさんあります。「あってよかった、みんなの県連協」をめざして今年度も頑張ります。共に力を合わせていきましょう。

■　報　告　事　項

１．埼玉県の動き

（１）第２回県次世代育成支援後期行動計画策定協議会　5月20日（水）於知事公館

内容は、①県民公聴会の実施結果について報告　②分科会における議論について報告　③後期行動計画たたき台についての報告と議論などでした。

当日、公聴会や分科会（県連協から森川を選出）での討議等をふまえて、以下の内容の「たたき台パート３」が提案されました。下線部が前回の「たたき台」からの追加箇所です。

放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実

○すべての小学校区の入所を希望する児童を受け入れることができるよう、放課後児童クラブ（学童クラブ）を整備します。26年度までに各市町村のニーズを踏まえ、●カ所の整備をめざします。

○定員が71人以上の「大規模クラブ」の解消を目指すとともに、「放課後児童クラブ運営基準にできる限り沿った運営を実現するため、定期的に各クラブの運営基準の遵守状況を確認します。その上で、特に指導の必要な事項については、事業の実施主体である市町村に対して改善の余地の有無について個別に確認を行い、放課後における児童の生活環境の向上を図ります。

○学童クラブへの入所を希望する障害児の受入を進めます。

○特別支援学校に通学する児童の健全育成を図るため、特別支援学校の児童で学童クラブへの入所を希望するすべての児童を受け入れられるよう、整備を進めます。

○放課後子ども教室をすべての市町村で実施できるよう、関係機関が連携して必要な人材の確保等を行い、放課後の子ども達の安全で安心できる居場所の確保を目指します。

○学童クラブ指導員の質の向上を図るため、指導員を対象にした研修を実施します。

○学童クラブ指導員について適切な人材の確保を図るため、指導員の処遇改善のための措置を講じるよう国に要望します。

（２）「学校・家庭・地域連携推進委員会」がスタート６月９日（火）於埼玉会館

標記委員会は、県教育局が行う「学校応援団」「放課後子ども教室推進事業」「埼玉の子ども70万人体験活動」の3つの事業を推進するために設けられた審議会です。昨年度までは、「放課後子ども教室推進委員会」がありましたが、今年度から組織が変更となりました。県連協より薄井会長がメンバーとなっています。

この日は、３事業のこれまでの取組状況と今後の進め方について議論しました。薄井委員が「放課後子ども教室と放課後児童クラブについて一体化でなく連携しつつそれぞれを充実させることが正しいあり方だと考えるが」と質問し、「一体化ではなく連携して行う」と回答がありました。

（３）「障害児担当指導員研修会」を県連協と共催で開催

昨年開催された標記研修会について今年度は、県連協と共催で開催することになりました。

□７月14日（火）　於行田市商工センター　□７月16日（木）　於埼玉県県民健康センター

講師は、清水均さん（就労継続支援Ｂ型「レモンカンパニー」職員）です。

２．埼玉県学童保育連絡協議会のとりくみ

（１）第37回県連協総会が開催　６月６日（土）　於さいたま共済会館

27市町約140人の出席がありました。詳細は追って全世帯ニュースでお知らせします。

（２）第37回研究集会が開催されました　６月７日（日）　於埼玉県立大学

50市町866人（※昨年686人）の参加がありました。指導員＝730人、保護者＝113人、その他＝23人。全体会は、「希望をつむぐ子育ての絆～物語る言葉を生きる力に」と題して庄井良信氏（北海道教育大学大学院教授）が記念講演しました。午後は18分科会を開催しました。

（３）大規模学童保育問題についての追跡調査結果をお送りします

昨年８月、県連協として市町村に対して、大規模学童保育に関する調査を行いました。この５月、その後の追跡調査として、①その後の進展状況②県施策も改善された下で今後の分割の方針の有無③分割でない方法で解消しているかどうかについてお尋ねしました。なお、この調査結果は市町村にも届けます。地域での大規模学童保育改善のとりくみにご活用下さい。

お知らせ・お願い

１.「大規模改善設備・備品等助成金」説明・意見聴取会にご参加を

６月27日（土）18:00開場18:30開会　於シーノ大宮６階・桜木公民館「和室」

『日本の学童ほいく』誌の特別還元金の県連協分の累積913万円余のうち、400万円を、各学童保育や地域連協等が大規模学童保育の増設を進めるための設備費や活動費に活用できる助成金（渡しきり）として活用していただくことを、先の県連協総会で決定しました。

標記会議では、同助成金を効果的に活用するために、助成対象や要件などについて該当するクラブや地域連協などの意見をうかがいます。この会議を経て、7月18日の第１回代表委員会にて詳細を確定します。

２．第１回県連協代表委員会へご出席を

７月18日（土）18:00開場　於シーノ大宮９階・さいたま市生涯学習総合センター「和室」

□内容【報告】①厚生労働省2009年度第２次補正予算「安心こども基金」　②その他

【交流】①地域の動き、行政との関わりで特徴的な動き　09年度予算、大規模の分割・新設等

【議題】①県連協「大規模改善設備・備品等助成金」に関する要綱の提案　②県連協2009年度方針の重点の紹介と討議　③その他

３．９月の合宿研究会は「学童保育の保育と指導員のことをみんな（保護者・指導員）で考えよう」　９月12日（土）＝全体会　13日＝分科会　於埼玉労働会館

第一弾チラシを添付しました。

４．県連協の専門委員会のメンバーになって下さい

県連協には、当面している課題を専門的に深め、必要なとりくみを進めるためにいくつかの専門委員会があります。地域連協ないし学童保育からメンバーを募集します。

関心のある委員会に是非、ご参加下さい。メンバーには交通費（実費）のみ支給します。

■学習研究委員会　県連協が主催する研修会の内容づくり、講師選定などを行います。
定例＝第３金曜日夜　於県連協事務所（ＪＲ大宮駅下車徒歩15分）　次回は７月17日

■労働条件改善委員会　指導員の労働条件の改善を進めることを目的とした委員会。
定例＝第４木曜日夜　於県連協事務所　６月分は、７月２日

■障害児問題専門委員会　障害のある児童の受け入れを促進するために必要な活動を行います。
定例＝第４水曜日夜　於県連協事務所

■指定管理者制度チーム　指定管理者制度に関わる情報収集、とりくみの討議などを行います。
不定期　於県連協事務所

■大規模分離増設チーム　大規模学童保育に関わる情報収集、とりくみの討議などを行います。
不定期　於県連協事務所　７月14日

■指導員の研修カリキュラムと認証制度のしくみづくり委員会　未定

５.『埼玉の学童ほいく～2009年度資料集』500円をご活用下さい！

毎年、発行している県内の学童保育のデータ・資料集です。

今年度は特に、①施設整備に関する県の新要綱　②国民生活センター提言　③県連協緊急提言「指定管理者制度は学童保育になじまない」　④県連協「指導員が息長く働き続けるために必要なこと～労働条件改善委員会としての見解」　⑤県内の学童保育の詳細な実態調査とその分析等、貴重な資料が満載です。学童保育の役員は必携、各学童保育に１冊は常備しましょう。

※ＦＡＸないしＥメールにてお知らせ下さい。

６．第51回自治体学校にご参加を　７月24～26日　於大宮ソニックシティ

学童保育の制度・施策や条件を改善するためには、自治体施策としての確立や施策そのものの改善が不可欠です。自治体学校とは、自治体職員・議員、住民などを対象に、自治体問題研究所という民間団体が主催する研修会で、自治体に関わる制度やしくみ等の動き、住民運動の課題や進め方等について学ぶことができる研修会です。今回は埼玉開催と言うことで、埼玉県連協として実行委員会に参加しています。一般参加者は3日券で15,000円のところ、埼玉の参加者は5,000円、同１日券は一般参加者5,000円のところ3,000円です。是非、ご参加を。

※チラシを各学童保育１部添付しました。詳しくは県連協事務局までお問い合わせ下さい

ＦＡＸ送信書048（644）1572　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

（送り先）　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿　ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿　メール＿＿＿＿＿＿＿＿

『埼玉の学童ほいく～2009年度資料集』（500円）希望部数

［　　］部送って下さい。

◇　県連協・全国連協等　当面の予定　◇

７月５日（日）　第34回全国学童保育指導員学校・北関東会場（於宇都宮市）
７月14日（火）　障害児担当指導員研修会・行田会場　（於行田市商工センター）
７月16日（木）　同さいたま会場　（於埼玉県県民健康センター）
７月24（金）～26日（日）　第51回自治体学校　（於大宮ソニックシティ）

９月12（土）～13日（日）　第25回埼玉県合宿研究会　（於埼玉労働会館）
10月24日（土）～25日（日）第44回全国学童保育研究集会　（於滋賀県大津市）
11月８日（日）　第37回県指導員学校　（於埼玉県立大学）